

7月19日(木)
松戸市立栗ヶ沢小学校
校長 田村 秀雄

栗小だより

学校長より

夏季休業中にぜひご家庭で考えていただけないでしょうか。

先日、保護者の方から栗ヶ沢小学校へ連絡がありました。

現在の栗ヶ沢小学校に通っている児童の動画投稿を見ました。具体的に誰であるか特定できるものもあり、体操服の名前も読み取れるものもありました。加えて、小金原団地内の特定される場所もあり、自宅などの動画もありました。

軽い気持ちで投稿されている場合もあるかと思いますが、子どもの行うことなのでこのことがどのようなことを引き起こすか心配になり連絡しました。

という内容でした。

SNSは不特定多数が見られる状態であり、様々な問題をはらんで子どもたちの安心な日々を妨げるような環境が今あります。

保護者の方はこの心配な状況から子どもたちを遠ざけたいとの思いがあったことと思います。学校も同じ気持ちです。子どもたちや保護者の方につらい、嫌なことが訪れる可能性はできるだけ「0」にしていきたいと強く願っています。

学校では、児童たちにこの内容を伝え、保護者の方が知った上なのか、投稿されている事実を知っているのかなどを確認しました。

その結果、保護者が知る中で投稿している児童、保護者の方の所有するタブレットを使用している児童が自分の部屋などで投稿していた、中には、自分の動画が投稿されていることを知らない児童もいました。

各ご家庭で、子どもたちのSNS使用、動画投稿、ネット使用の管理や指導を下さっている中と思いますが、子どもたちの使用状態など心配な点が数多くありましたのでお知らせしたいと考えました。

各ご家庭ではどのようなルールを作っているのでしょうか。このような約束事が一般的です。

スマホルール 保護者の管理について

- スマホ、キッズ携帯、タブレットなどは、夜間など決まった時間以外は使用しない。
- 充電は、保護者が管理し、充電場所を決め保護者がある場所を指定する。
- 自分の部屋など保護者から知らない中で使用できないような約束を作る。
- 有害サイトに接続することのないよう、フィルタリングに加入するか、利用制限をかけておく。

では、守らせるために大切な点は…



エスエヌエス こじん しょうほう
SNSに個人情報をのせていませんか？

なまえ 名前
かお しゃしん 顔の写真
せいねん がつび 生年月日
じゅうしょ 住所
でんわ ばんごう 電話番号
アイティ ID パスワード

1点目は、

- 決してルールを押し付けるのではなく、子どもとよく話し合い、考える場を与え、できれば子ども自身が「このルールを守る」と決意すること。

2点目は、

- できるだけ具体的なルールにすること。具体的でないと、守ったのか守っていないのかが分からないので、抜け道ができてしまいます。そして3点目は、「ルールを破ったらどうするか」を決めることです。これは罰則ではなく、あくまでも「守れなかった時に自分がどう責任を取るのか」を決めることです。一緒に考えたルールを口約束ではなく書面にして、親と子がきちんとサインをすることで、子どもは自分で考えたルールは自分で守る、破ったら自分で責任を取るという心構えができます。ルール作りは、自己責任意識や規範意識を養うものでもあるのです。

さて、これから学ぶ携帯のルールは…

基本的マナーの確認です。

- ◆電車・バスの中ではマナーモードにする
- ◆電車・バスの中では電話をしない
- ◆シルバーシート近辺、病院内などでは携帯電話の電源を切る
- ◆レストランや映画館、美術館、博物館や図書館の中ではマナーモードにするか、できるだけ電源を切る
- ◆歩きながら携帯電話をいじらない
- ◆自転車などに乗りながら携帯電話をいじらない
- ◆早朝や深夜など、非常識な時間に電話をしない
- ◆電話をかけた時に、相手に今電話をしても大丈夫かどうかを確認する
- ◆学校で話せばすむような内容はメールしない
- ◆メールで相手が傷つくようなことは書かない
- ◆本当に大事なことはメールではなく直接話す
- ◆すぐにメールの返事が来なくても相手を悪く思わず、自分も気にしない
- ◆どんなにケンカをしても、相手にいたずらメールや電話をしない
- ◆他人の写真を撮りたい時には、相手に聞いてから撮る
- ◆書店などで、本の中身を勝手に撮影しない
- ◆毎月、利用時間や料金を確認して、正しい使い方をしているか振り返る

子どもたちは、大人が守らなければならない場面がとて多くなってきています。大人の知識より先行した知識を持った子供たちも多くなってきています。

しかし、大人は子どもたちを守るために子どもたちに一つ一つ理解させ、そして約束をさせ、学習をさせなければならないと思います。わからないからと言って放っておくと、子どもたちは正しい社会のルールを学んでいくことができません。

